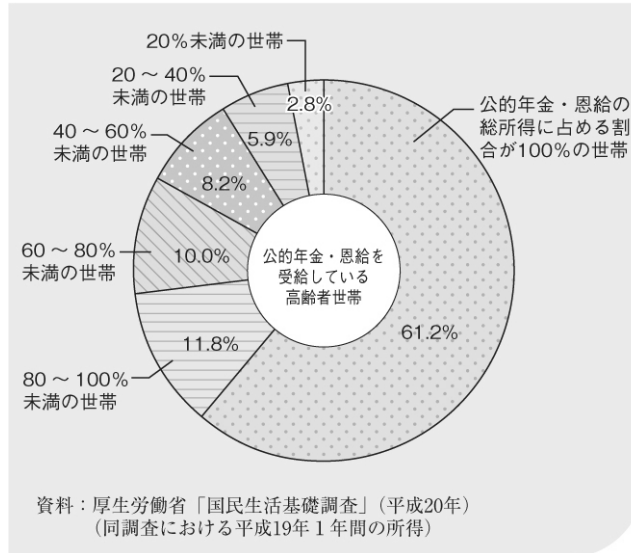
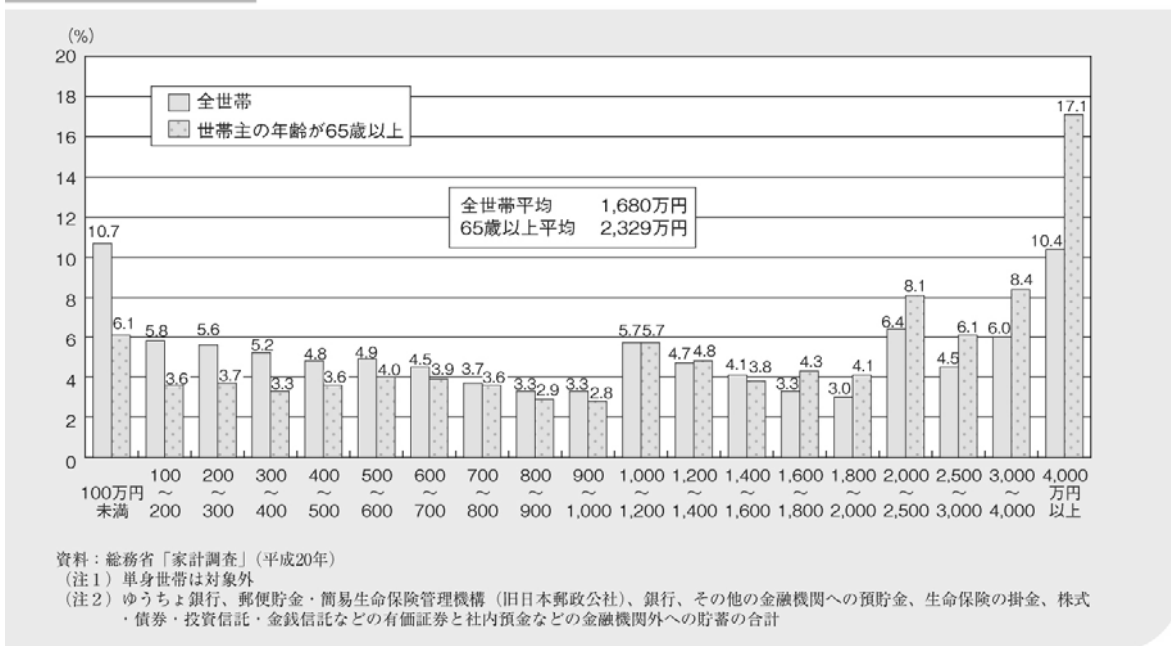


図1-2-2-3 高齢者世帯における公的年金・恩給の総所得に占める割合別世帯数の構成割合



(図1-2-2-7) ですね。どれくらい貯蓄を持っていらっしゃるかということでございます。

図1-2-2-7 貯蓄現在高階級別世帯分布



これはグラフでは、全世帯がピンクで、世帯主の年齢が65歳以上の世帯はこの水色のほうでございます。全世帯平均の貯蓄額は1,680万円。65歳以上の世帯主の方の世帯の平均は2,329万ということで全世帯平均の1.4倍ということでございまして、特にちょっと右側で、4千万円以上のところの世帯が、全世帯平均よりもかなり高いというふうな状況がございます。ただ、高齢の方は健康のこととかいろいろ心配もおありで、貯めていらっしゃる部分もあるのかなと思います。

(表1-2-3-11)にご高齢の方の健康と福祉ということで、これは介護の関係の数字でございます。

表1-2-3-11 要介護等認定の状況

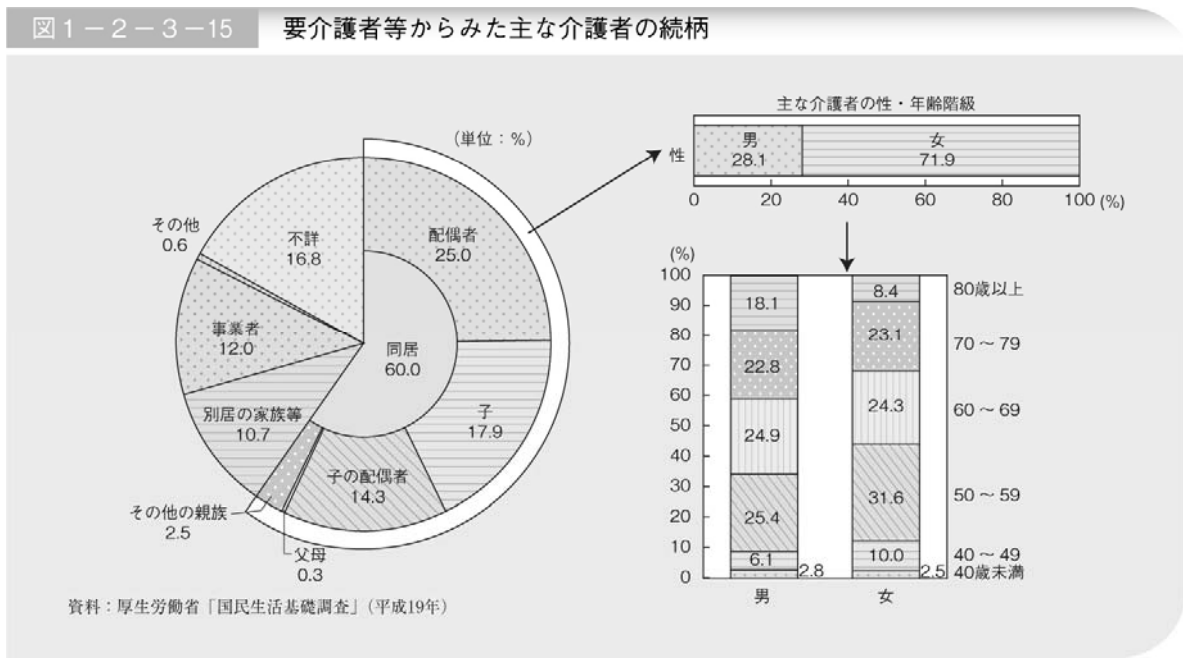
単位：千人、()内は%

65～74歳		75歳以上	
要支援	要介護	要支援	要介護
187	460	960	2,769
(1.3)	(3.1)	(7.5)	(21.6)

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」（平成19年度）より算出
 (注) 経過的要介護の者を除く。

65歳以上の方がどれくらいの数、要介護の認定を受けているかということでございまして、これは見ていただくとわかるのですが、介護保険法施行になって以降、ずっと増えておりまして、75歳以上の方だと2割を超える方、5人に1人が何らかの要介護の認定を受けているという状況でございます。

(図1-2-3-15)は、その介護をしている人は誰なのかということなのですが、やはり同居の親族の方が6割でございます。



その内訳で一番多いのはやはり配偶者、その次がお子さん、お子さんの配偶者というふうになります。介護者の性別はやはり女性が圧倒的に多く7割で、男性3割というふうな数字になっております。